

食肉センター食肉市場特別会計

平成 17 年度決算状況

歳 入	決 算 額	歳 出	決 算 額
1. 事業収入	84,305,434 円	1. 業務費	414,771,738 円
2. 県支出金	54,257,000 円	2. 公債費	79,080,110 円
3. 繰入金	273,100,000 円	3. 予備費	0 円
4. 繰越金	11,602,535 円		
5. 諸収入	32,426,686 円		
6. 市債	51,000,000 円		
合 計	506,691,655 円	合 計	493,851,848 円
		収 支	12,839,807 円

歳入

款 1 事業収入

予算現額	調定額	収入済額	予算現額との比較
83,910,000 円	84,305,434 円	84,305,434 円	395,434 円

事業収入は、当特別会計の自主財源となっています。昨年度と比較して、と畜頭数に連動した食肉センター使用料、取扱高に連動した卸売業者市場使用料ともに牛は減額、豚は増額となりました。

項 目	金 額 (円)	備 考
食肉センター使用料	61,832,871	
牛	7,062,300	2,100 円 / 頭
豚	54,770,571	577 円 / 頭
食肉市場使用料	22,472,563	
冷蔵庫使用料	11,818,800	1,050 円 / m ² / 月
卸売業者市場使用料 (牛)	1,465,628	取扱高 × 2 / 1,000
卸売業者市場使用料 (豚)	6,353,855	取扱高 × 2 / 1,000
卸売業者売場使用料	189,000	210 円 / m ² / 月
事務所使用料	2,643,480	315 円 / m ² / 月
敷地占用料	1,800	電柱 1 本、支線 1 条

款2 県支出金

予算現額	調定額	収入済額	予算現額との比較
54,257,000 円	54,257,000 円	54,257,000 円	0 円

集荷対策及び施設整備に対する県補助金

市場機能強化対策事業費補助金

41,330,000 円

食肉処理施設再整備事業費補助金

12,927,000 円

款3 繰入金

予算現額	調定額	収入済額	予算現額との比較
273,100,000 円	273,100,000 円	273,100,000 円	0 円

繰入金は、一般会計から予算全額を繰り入れました。

款4 繰越金

予算現額	調定額	収入済額	予算現額との比較
11,602,000 円	11,602,535 円	11,602,535 円	535 円

款5 諸収入

予算現額	調定額	収入済額	予算現額との比較
33,464,000 円	32,426,686 円	32,426,686 円	1,037,314 円

施設利用者からの実費弁償金等であり、収入減の主なものは私用電気使用料の1,030,175円減です。

項 目	金 額 (円)
金融機関預金利子	242
私用電気使用料	20,993,825
私用水道使用料	3,168,274
私用下水道使用料	3,833,039
私用ガス使用料	88,946
食肉市場整備事業費	1,975,432
消費税還付金	2,248,897
その他雑入	118,031

款6 市債

予算現額	調定額	収入済額	予算現額との比較
51,000,000 円	51,000,000 円	51,000,000 円	0 円

食肉センター・食肉市場の施設整備に対する事業資金です。

支出

款 1 業務費
 項 1 業務費
 目 1 業務費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
427,290,000 円	414,771,738 円		12,518,262 円

〔一般職給〕 3 人 32,033,203 円 (その他特財 133,000 円)

目的	効率的な施設の実現				
指標	機器のトラブル回数	目標	重故障 20 回 / 年 軽故障 250 回 / 年 微故障 450 回 / 年 (16 年度 牛 12 回 / 100 頭) (16 年度 豚 5 回 / 100 頭)	実績	重故障 22 回 / 年 軽故障 293 回 / 年 微故障 706 回 / 年 (16 年度 牛 12 回 / 100 頭) (16 年度 豚 3 回 / 100 頭)
説明	<p>消費者に安全で安心な食肉を供給し、安全性の確保された衛生的かつ効率的な作業環境を築くため、施設・設備の整備及び保守点検、修繕等を実施するとともに、(株)三重県四日市畜産公社に施設・設備等の運転、整備業務等を委託しました。また、施設全体を総合的に管理し施設管理の的確化及び効率化を図るため、本年度から夜間・休日施設管理を含めた施設管理データ記録・管理を一括して専門業者へ複数年委託することを開始しました。</p> <p>今後、目標を達成するため、老朽設備を更新していくとともに、本年度から開始した専門業者への施設管理委託で蓄積されていくデータを最大限に活用して的確な施設管理を実施することにより、より効率的な施設の実現を目指していきます。</p>				

〔施設維持管理費〕 51,003,907 円 (その他特財 29,665,530 円)
 〔食肉センター食肉市場業務委託費〕 63,964,000 円 (その他特財 61,832,871 円)
 〔施設整備事業費〕 82,782,000 円 (市債 51,000,000 円)
 (その他特財 8,500,897 円)

施設整備事業内容	実施額 (円)
牛・豚廃棄物処理ルート分離工事 BSE 対策のため牛廃棄物については、産業廃棄物として適正な処理をすることが義務付けられており、資源として有効活用ができない状況にあります。これまで、豚廃棄物についても牛のものと混合されていたため牛と同様に産業廃棄物として処分していましたが、豚廃棄物の資源としての有効活用及び廃棄物処理経費の軽減を図るため本工事を実施しました。	23,992,500
冷蔵庫設備老朽更新工事 (設計委託費含む) S56 に整備された冷蔵庫設備 (4・5 号冷蔵庫) の冷凍機他更新及び設備監視システム改修を実施しました。	24,586,800
低圧盤改修工事 (設計委託費・附帯工事費含む) 汚水処理施設制御盤・配線ダクト改修、セリ場電灯盤改修、病畜と室電灯・動力盤改修、第一受変電盤改修他の老朽更新を実施しました。	17,302,950
女子便所設置工事 (設計委託費含む) 既存のと畜場棟 1 階及び市場棟 2 階便所を女子便所へ一部改修するとともに、各便所に衛生対策器具を設置しました。	5,449,500
設備点検用階段・歩廊設置工事 屋上にある空調機、冷凍機等設備の保守及び点検者の安全確保のため、設備点検用の階段・歩廊を設置しました。	8,032,500
その他衛生設備等設置・改修工事 搬入出車両消毒装置改修、衛生対策懸垂幕昇降装置設置等を実施しました。	2,764,650
と畜用備品等導入 設備運転状況チェック機器、設備点検用脚立・はしご他を導入しました。	653,100

目的	市場上場頭数を増やす						
指標	遠隔地出荷奨励	目標	牛	600 頭	実績	牛	143 頭 (16 年度 289 頭) コスト 4,000 円/頭 (16 年度 4,000 円/頭)
			豚	14,000 頭		豚	46,251 頭 (16 年度 44,900 頭) コスト 221 円/頭 (16 年度 200 円/頭)
	牛上場奨励		牛	1,200 頭		牛	913 頭 (16 年度 808 頭) コスト 4,999 円/頭 (16 年度 5,000 円/頭)
	豚出荷新規開拓		豚	2,000 頭		豚	21,307 頭 (16 年度 19,716 頭) コスト 187 円/頭 (16 年度 200 円/頭)
説明	<p>食肉市場において、食肉の円滑な流通と適正な価格形成を確保するため、卸売会社である(株)三重県四日市畜産公社を通じて、集荷及び販売対策事業を実施して市場運営の健全化を図りました。豚については、新規大口出荷者の確保等により、目標を上回る成果を上げることができました。牛については、全国的な出荷頭数減及び他市場との競合により上場頭数が減少する結果となりました。総取引金額では、39億円と対前年比102.8%となりました。</p> <p>今後、増加した豚取引の確保と特に牛の上場頭数増加を実現するため、引き続き効果的な集出荷対策の実施を目指していきます。</p> <p>また、牛肉安全性確保対策事業3,924千円については、当施設でBSEが確認されなかったため、不執行でした。</p>						

〔市場機能強化対策事業費補助金〕 81,260,000 円 (県支出金 41,330,000 円)

食肉センタ - 業務について

本年度の開場日数は 241 日で、食肉センターの使用状況は下表のとおりとなりました。牛については全国的な出荷頭数減及び他施設との競合の影響を受け、前年度より減少し、より積極的な集荷活動が必要になっています。豚については新規大口飼養農家出荷確保もあり、前年度より増加しました。

・食肉センタ - 使用状況

区 分	牛	豚	馬	子 牛	めん羊	計
本年度計画頭数(頭)	3,900	86,000	0	0	0	89,900
本年度と畜頭数(頭) (前年度 ")	3,363 (3,641)	94,921 (92,714)	0 (0)	2 (3)	0 (0)	98,286 (96,358)
本年度使用料(円) (前年度 ")	7,062,300 (7,646,100)	54,769,417 (53,495,978)	0 (0)	1,154 (1,731)	0 (0)	61,832,871 (61,143,809)
前年度対比(%)	92.4	102.4	-	66.7	-	101.1

食肉市場業務について

本年度の食肉取引状況は下表のとおりで、牛については、全国的な出荷頭数減及び他市場との競合の影響等を受け、取引頭数が前年に引き続き減少しました。また、取引単価は品薄感から年間を通じ堅調に推移しました。

一方、豚については、新規大口出荷者の確保等により、取引頭数が増加するとともに、取引単価も年間を通じ堅調に推移しました。

総取引金額では、対前年比102.8%という結果になりました。

なお、上場率(取引頭数/と畜頭数)については、牛27.3%、豚98.9%となっています。

今後、増頭した豚の取引頭数の確保と減頭した牛の取引頭数を増加させるための積極的な集荷活動が必要となっています。

・食肉取引状況

区 分		取引成立頭数	取 引 重 量	取 引 金 額	平均単価
牛	本年度計画	1,500 頭	600,000.0kg	960,000,000 円	1,600 円 / kg
	本年度実績 (前年度)	918 (1,060)	364,103.0 (421,128.7)	732,815,728 (831,666,024)	2,013 (1,975)
	前年度対比(%)	86.6	86.5	88.1	101.9
豚	本年度計画	85,140	6,385,500.0	2,362,635,000	370
	本年度実績 (前年度)	93,859 (91,697)	7,115,622.4 (6,919,401.0)	3,176,928,165 (2,970,868,308)	446 (429)
	前年度対比(%)	102.4	102.8	106.9	104.0
計	本年度実績 (前年度)	94,777 (92,757)	7,479,725.4 (7,340,529.7)	3,909,743,893 (3,802,534,332)	- -
	前年度対比(%)	102.2	101.9	102.8	-

〔一般経費〕 103,628,628 円 (その他特財 28,202,357 円)
 〔全国食肉市場長連絡協議会負担金〕 100,000 円

款 2 公債費
 項 1 公債費
 目 1 元金

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
48,646,000 円	48,645,380 円		620 円

〔農林水産業債償還金〕 48,645,380 円 (県支出金 7,714,000 円)

目 2 利子

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
30,897,000 円	30,434,730 円		462,270 円

〔農林水産業債利子〕 30,434,730 円 (県支出金 5,213,000 円)

款 3 予備費
 項 1 予備費
 目 1 予備費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
500,000 円	0 円		500,000 円